

別記様式（第4条関係）

窒素酸化物に係るばい煙発生施設使用計画届出書

年 月 日

吹田市長 宛

届出者 住所

氏名

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

吹田市固定発生源窒素酸化物に係る総量削減指導要領第4条の規定により、窒素酸化物に係るばい煙発生施設の使用計画について、次のとおり届け出ます。

ふりがな	
工場又は事業場の名称	
工場又は事業場の所在地	
担当部課名及び電話番号	
窒素酸化物に係るばい煙発生施設の使用計画	別紙のとおり

※整理番号		※受付印
※受理年月日		
※工場又は事業場番号		
※審査結果		
※備考		

備考 ※の欄には記入しないこと。

別紙 窒素酸化物に係るばい煙発生施設の使用計画

施設番号	大気汚染防止法施行令別表第1項番号	施設係数に係る区分番号	施設の種別	施設の設置年月日	原料の処理能力又は燃料の燃焼能力 (kL/h) (10 ³ Nm ³ /h) (t/h)	使用する原料及び燃料		原料及び燃料の換算係数	燃料の特別の換算係数	原料又は燃料使用量の重油換算値 W NOx (kL/h)	WNOxに係る使用状況 (交互・予備・休止・廃止)	単位乾き排ガス量 G ₀ ' (Nm ³ /L) (Nm ³ /kg) (Nm ³ /Nm ³)	排出ガス量乾き定格 O ₂ 0%換算 (Nm ³ /h)	排出ガス量 (10 ⁴ Nm ³ /h)		施設係数		許容排出量		施設管理値		NOx対策の内容	CV+Ci Viに係る使用状況 (交互・予備・休止・廃止)	備考						
						V	Vi							C	Ci	C・V	Ci・Vi	NOx許容排出量 Q (Nm ³ /h)	N値 (ppm)	最大NOx排出量 1/100N(V+Vi) (Nm ³ /h)										
合計																														

備考1 合計には、交互使用の施設のうちWNOx 又は C・V + Ci・Vi の小さいもの並びに予備、休止及び廃止の施設は含まないこと。

2 NOx 許容排出量の算定式は次のとおりである。 $Q = k \cdot \{ \sum (C \cdot V) + \sum (Ci \cdot Vi) \}^L$

3 施設管理値のN値を変更しようとするときは、当該施設に係る附表を添付すること。

附表 施設別の窒素酸化物データ整理表

施設番号	施設の種別									
測定年月日	NOx対策の内容	原料及び燃料の種類	原料及び燃料の使用量	単位	実測乾き排出ガス量 (Nm ³ /h)	実測NOx濃度 (ppm) <1>	実測O ₂ 濃度 (%) <2>	負荷 (%)	O ₂ 0%換算NOx濃度 (ppm)	測定法
測定時の状況について記入すること。なお、単位は原則として次のとおりとする。 気体：Nm ³ /h、液体：L/h、固体：kg/h									換算式は原則として次のとおりとする。 <1>×21/(21-<2>)	

